

《事業概要》

- 事業名 インタープリター養成講座
- 日程 平成18年11月3日～11月5日 午前8時から午後7時 雨天決行
- 会場 環境省鹿沢インフォメーションセンター（宿泊ではなく通い。）
(住所：〒377-1695 群馬県吾妻郡嬭恋村田代鹿沢園地 TEL/FAX 0279-80-9119)
- 対象 嬭恋村の自然を愛する16歳以上の自然案内・啓蒙活動、野外活動に興味のある健康な男女
- 参加人数 16名（募集人数30名）
- 参加費 嬭恋村インタープリター会会員¥10,000、非会員¥12,000
- 取得資格 嬭恋村インタープリター会・リーダー（希望者は別途¥2,000でCONEリーダーにも登録可）
- 主催 嬭恋村インタープリター会（事業担当者：木村道紘）
- 共催 嬭恋村観光協会
- 協賛 群馬県、嬭恋村
- 協力 吾妻広域西部消防署嬭恋分署、ぐんま森林インストラクター会
- 持ち物 各人の昼食（お弁当）、筆記用具、バインダー、野外活動ができる服装・靴、三角巾（なければ代わりのふろしきなど）、あれば自然観察用具、雨具など

（3日午前）

●講座1 人と自然、社会、文化の関わり 3時間

講師：松島榮治

--- 講師プロフィール ---

考古学者 前嬭恋村郷土資料館館長 群馬県文化財保護審議会会長 鎌原村発掘調査など

◎『嬭恋村の近代的遺産（要旨）』



今年もたつぷりと松島イズムをお聞かせいただき、アンケート集計結果でも一番人気でした。今年この講座内容は以下の通り

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| I、近代化遺産について | ③、採掘の状況 | 3、太平洋戦争の頃の小串鉱山 |
| 1、近代的遺産とは | ④、生産量 | 4、戦後の小串鉱山 |
| 2、群馬県の近代的遺産 | ⑤、搬出 | 5、小串鉱山の閉山 |
| | ⑥、閉山 | |
| II、嬭恋村の近代化遺産 | 4、戦後の採掘 | V、吾妻鉱山 |
| 1、県登録の近代化遺産 | ①、採掘の再開 | 1、発見から大正末期まで |
| 2、嬭恋村の近代化遺産 | ②、焼成炉の建設 | 2、昭和初期から第2次大戦まで |
| | ③、閉山 | 3、終戦から閉山まで |
| III、ロウセキ山（上信鉱山） | | |
| 1、蠟石とは | IV、小串鉱山 | VI、石津鉱山 |
| 2、採掘のはじまり | 1、採掘のはじまり | 1、発見から第2次大戦まで |
| 3、戦中の採掘 | ①、毛無峠付近の硫黄採取 | 2、戦後から閉山まで |
| ①、試掘 | ②、小串鉱山による採掘 | |
| ②、本格的採掘 | 2、小串鉱山の災害 | |

(3日午後)

- 講座2 自然体験活動の基礎技術(1) --- 森の見方、考え方 1時間
- 講座3 プログラムの作り方 --- 自然体験プログラム 1時間

講師：木村道紘

--- 講師プロフィール ---

嬭恋村インタープリター会技術担当理事、森林インストラクター、NPO法人浅間山麓国際自然学校評議員、日本エコツアーリズム協会「このガイドさんに会いたい100人プロジェクト」の一人

上記2時間は室内でパワーポイントによる講義とした。受講者は今後、嬭恋村をベースとしてエコツアーや自然観察会等の自然啓蒙活動を行っていく事になるので、《講座2》は当会運営事務局側からとして、最近の自然保護思想のトレンドや「新・生物多様性国家戦略」に基づいた「共存」と「循環」の考え方の講義とした。《講座3》では、プログラムの作成方法ではなく、自然体験プログラムを生むための基本的根底思想とはなんであるか？最終的には、いかに自然を大きく楽しみ、深く味わうかであるとしてまとめた。また自然体験プログラムの事例や今後会員が関係していくプログラムを紹介した。講義内容は以下の通り。

- 《講座2》
 - ◎葛咲くや嬭恋村に字いくつ --- 葛から見る森との共生
 - ◎植物の上陸～誕生～進化 --- 生き残りの戦略、敵もまた見方
 - ◎豊かな自然 --- 生き物たちの評価と人間の評価
 - ◎ビオトープと生物多様性 --- 決め手は多様性ではなく固有性
- 《講座3》
 - ◎なぜ今、自然体験なのか --- 自然体験=環境教育
 - ◎森林は文化の根源、自然界の揺らぎ
 - ◎ネイチャーガイドの基礎技術
 - ◎自然体験プログラム事例集



- 講座4 安全対策について(1) --- 現場の応急手当術 1時間

講師：小林勝三

--- 講師プロフィール ---

元海上自衛隊衛生員、隊員の健康管理、医療に従事。準看護師、あんまマッサージ指圧師、鍼師灸師。現在嬭恋村にて浅間治療室を開業

実際のインタープリターション活動においては、心肺蘇生法の実施という最悪のケースは少なく、傷、骨折、テーピングなどの、現場の応急手当術が求められる。小林副会長により本講義が可能となった。講義内容は以下の通り。

- ◎救急法全般
- ◎骨折時の応急手当術
- ◎テーピングの仕方
- ◎止血法、包帯の使い方など



(4日午前)

- 講座5 対象となる参加者の事を知る 2時間
- 講座6 自然体験活動の理念 1時間

講師：国田裕子

--- 講師プロフィール ---

CONE トレーナー 日本ネイチャーゲーム協会公認トレーナー
森林インストラクター [キミ子方式絵画] 講師



本インタープリター養成講座を監修し全責任を引き受けてくださっているCONEトレーナー。国田様がいてこそ本講座は成り立っている。

今回実施したネイチャーゲームは、「はじめまして」「フィールドビンゴ」「カメラゲーム」の3種。簡単なゲームから次第により深く自然を味わい、分かち合うゲームへの進ませ方 --- このネイチャーゲームで見られるフローラーニングの流れを感じ体験することが、当会では必要であると考えている。いずれにせよ今年も、受講者達は戸惑うことなく、ネイチャーゲームを大いに楽しみ、新しいジャンルとの出会いの日となったようだ。

野外でゲーム体験の後、室内で「対象となる参加者の事を知る」「自然体験活動の理念」=CONEの理念としくみを講義していただいた。

(4日午後)

- 講座7 自然体験活動の指導法 4時間

講師：笹木京子

--- 講師プロフィール ---

環境省環境カウンセラー、プロジェクトワイルド上級講師、プロジェクト・ラーニング・ツリー上級講師、環境腹話術師、ネイチャーゲーム指導員、群馬県環境アドバイザー、食生活改善推進員、食育サポーター、ぐんま森林インストラクター会会員



当会会員に幅広い自然や環境についての思想や技術を学んでいただくため、今回お招きしたのは、教育委員会からの依頼でPLTやPWという環境教育プログラムを主に展開している笛木講師。環境腹話術師という離れ業もやってのける。

国田講師のネイチャーゲームからのバトンタッチも良い流れとなり、会員の心をスムーズに掴んでいた。また、環境教育プログラム（アクティビティ）の体験は、受講者たちの良い刺激になったようだ。野外で走り回るプログラムでは全力投球している姿が見られた。

室内では自然体験プログラムの指導法として指導者の心構え、マナー、注意点などを講義し、「危険な動植物とその対処」の説明では夫である笛木裕二様(森林インストラクター・樹木医)が詳しく説明して下さった。最後に、「集めた落ち葉でゲームを創作しよう」の時間では、本日たっぷりと刺激を受けた受講者たちは、通常よりも考える時間の短い中で、さまざまな趣向でゲームを創作し披露してくれた。中でもハウチワカエデをウチワとして使った枯れ葉レースは大変な人気であった。

(5日午前)

●講座8 自然体験活動の基礎技術(2) 2時間

講師：下谷昌幸

--- 講師プロフィール ---

元孺恋高校教師。トヨタ財団第1回身近な自然を見つめよう研究コンクール金賞「白根火山」著者

◎白根火山、硫黄を中心にした孺恋産業史



元孺恋高校教師であり、草津白根山研究の第一人者である下谷講師。科学者ではなく素人の立場で、白根火山とそれを取り巻く全てをこと細かく、ありとあらゆる調査を行ってきた人物である。白根山の事をあまり知らない受講者には難しかったようだが、地元を受講者はうんうんと唸りながら聞き入るシーンがたびたび見られた。また、現在下谷講師は鉾山跡ガレ地を緑化する活動に取り組んでおり、受講者に同様の活動を促す場面もあった。会では毛無山経由で御飯岳に先日実踏会を行っており、ハイマツ群落地に下谷講師の白根火山研究会による看板を確認しており、

その謎が解け、喜んでいた会員も見られた。

●講座9 安全対策について(2) --- 普通救命講習 3時間

講師：吾妻広域消防署孺恋分署



昨年同様、消防署の救急隊員の指導による普通救命講習を実施した。通常の生活では心肺蘇生法の訓練は行わないので、有事の際に頼りになる人材は少ない。一度受講したくらいでは足りないのだが、何度も受講できるのが本講座の良いところ。

(5日午後)

●講座10 自然の理解 3時間

講師：田中洋助

--- 講師プロフィール ---

林野庁森林管理局指導普及課で長年、一般の方々に森林の大切さをPRする仕事を担当、ぐんま森林インストラクター会会長、日本樹木医会群馬県支部事務局長、林業雇用改善アドバイザー

養成講座の最後をまとめていただいたのは、ぐんま森林インストラクター会会長、日本樹木医会群馬支部事務局長の田中講師であった。まずは野外に出て全員参加型の準備体操の後、軽く「小さな湿原」と「かえでの小径」を1周。しかし最後の最後でやっと皆さん大好きな自然観察会実習ができること、川の流れる音が思いのほか大きかったこと、勝手に教え始める講師が多数出てきてしまったことから当初は混乱していたように見えた。しかしそんなことはものともせず、歩み進むにつれて自分のペースに引き込んでいくゆったりとした手法を示してくださった。

野外での実習が話が弾み長くなったことで、室内の講義はハイスピードとなった感もあったが、初日の木村講師の講義と同様の内容のものがあったので、復習となり功を奏したようであった。田中講師の講義はお話しの仕方がやさしく好感が持てることもあって、アンケート集計結果では二番人気となった。室内での講義内容はおおむね以下の通り。



◎楽しい観察会を行うために

1. わかりやすい
2. 面白い
3. 新しい発見
4. ふりかえり



◎ゆっくり歩きの5つのポイント

1. 歩幅を小さく
2. 足音を立てない
3. ベタ足で
4. 二本のレール
5. まず息を吐く

◎不思議な昆虫の世界～小さな生き物たち

1. サバイバル戦略 --- ツチハンミョウの一生
2. アリジゴク --- ウスバカゲロウ、 優曇華の花 --- クサカゲロウ

◎きのこの話

◎聴こえますか？木の音が

◎森林インストラクターの活動

◎樹木医の活動

1. マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウ
2. カシノナガキクイムシ

◎終わりに

1. 自然は壊れやすい
2. 植物と人間の歴史の差
3. 自然の多様性を大切に



★5日夕方には、松本村長が日ごろのお礼を兼ねて、応援とご祝辞の言葉を述べにお越しくださいました。ご多忙の中、誠に恐縮しました。そして心強いお言葉、誠にありがとうございました。スタッフ一同、感謝感激いたしております。



★今年は文化の日にまたがり実施したため、参加人数が少なかったことが残念でした。今回それでも実施できたのは、群馬県の一郷一学の補助金によるものでした。中之条行政事務所の安原隆一様には、いろいろとご指導いただいた他、初日に様子を見に足を運んでいただきまして誠にありがとうございました。しかし、受講者にとってはその分充実した講座になった模様です。

★参加者16名中、3名が再受講者だったため、13名が新たに孺恋村インタープリター会・リーダーの資格を取得し、土屋茂次会長から認定証が授与されました。これで当会が認める21時間のインタープリター（リーダー）養成講座を受講した人数は48名となりました。この中から6名がCONE指導者として登録し、CONE登録者は合計29名となりました。インタープリター養成講座は毎年、開講を予定している当会の基幹事業であり、今後もこのような会員のスキルアップ、フォローアップ講座を順次計画実行していく予定です。

